

磯のやっかいもの「バリ」 (正式名:アイゴ)

南島原市では、バリ、ヤーノイオと呼ばれる魚で、なかなか売れない魚でもあります。かりに売れたとしても安価です。

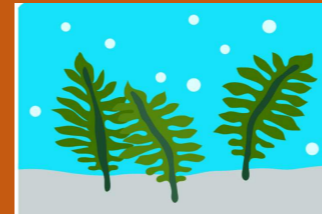
なぜ売れないのか？

売れない理由2つあります。

一つ目は、内臓に磯の臭みがあり、鮮度が落ちると身にまで臭みが浸透してしまいます。

二つ目は、鰭に毒針があり、これに刺されると長時間痛みがでます。

そして、この魚の一番厄介な所は、海藻が大好きだということです。



アイゴは集団で生活しています。集団で海藻を食べるので、磯焼け（海藻が全くない）状況を作る原因のひとつとされています。

漁業者は売れないから獲らない、すると魚は増えて、海藻が消えていく、3重苦のやっかいものです。

そこで、バリ駆除プロジェクトメンバー が立ち上がりました。

駆除するだけでなく商品として売れないか。

島原半島南部漁協では磯の環境を守る活動に取り組んでいます。



バリ (正式名: アイゴ)

プロジェクト第1弾！
バリ 一夜干し



バリ駆除プロジェクトメンバー



14 海の豊かさを
守ろう

